

もえぎの会の事業活動に期待するもの

目黒区健康福祉部
部長 小笠原 行伸



もえぎの会の皆様、こんにちは。皆様には、日ごろから目黒区の障害者福祉行政にご理解とご協力を頂き、誠にありがとうございます。

もえぎの会の事業活動は、しいの実社のパンや織物の質の高い商品の製造販売などを通じて着実に地域に定着し、広く区民から受け入れられています。この4月に開設した「スマイルプラザ中央町」(旧第六中学校施設)に入所して就労移行支援事業を行う新事業所の開設が間近になっております。新事業所の運営が円滑に実施できることを願っております。スマイルプラザ中央町には障害者就労支援センターや就労移行支援事業者、地域活動支援センターなどが入所しますので、各事業者との連携を行っていただき、各事業者の活動が輻輳して充実することも期待しています。

障害者が地域で安定した生活をするには、地域生活支援と就労支援は必要です。このためにもえぎの会は、障害者の就労・日中活動の場であるしいの実社とグループホーム沙羅の家の運営をされています。さらに今年度は、新しいグループホームを開設される予定があると聞いていますので、期待しております。

さて、障害福祉制度については、国は、障害者自立支援法を廃止し、「制度の谷間」がなく、利用者の応能負担を基本とする総合的な制度をつくることとしています。夏頃には新しい制度の骨格をまとめていくとされていますので、その検討状況を注目しながら、区として新制度に対応できるよう取り組んでまいります。もえぎの会の皆様には、今後の新制度を勘案した事業展開を期待しております。

いずれにいたしましても、目黒区の障害福祉の充実は、私ども行政だけでできるものではないと思います。皆様のご協力をいただきながら、安心して暮らすことができる地域づくりに努めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

2010年度 もえぎの会 事業報告会・懇親会のご案内

下記のように開催を予定しております。

7月31日(土) 目黒区総合庁舎 2階大会議室

改めて、ご案内をお送りいたします。ぜひご出席ください。

2010年度事業計画

今年の冬は、雪の日や春を思わせる日々もあり寒暖の差が大きく、体調維持が難しかったのではないのでしょうか？そのような環境でも、しいの実社や沙羅の家では、多くの利用者は毎日元気に仕事や生活をしています。

法人として、今年は認可を頂いてから、10年を迎えます。開設に向けて貢献して頂いた人や地域の町会や商店街の人々など、地域の多くの人々の支えがあり、ここまできました。今後も、地域の中で障害を持った人が安心して生活できる環境を作る為に事業を展開していきます。

しいの実社としては、2010年度は目黒区により第六中跡地に整備された障害者施設「スマイルプラザ中央町」を借り、就労移行支援事業を開始する予定です。事業の形態として、しいの実社は就労移行支援事業を加えた多機能型施設となる予定です。3つの事業、それぞれに合った支援を作り上げ、安定した生活や生産を行うために、下記のような事業計画を立てました。

1. 就労継続B型事業

- ①しいの実社と学芸大学店の連携を図り、利用者のニーズに合わせた配置をする。
- ②授産事業を強化し、利用者の関わることのできる作業を増やし、生産力を上げる。それにより、工賃の向上を実現する。
- ③就労にむけた意識作り、情報提供を行う。

2. 生活介護事業

- ①利用者の安定した生活を支援する。
- ②社員の特性に合った仕事を提供する。
- ③体力や生活自立を向上させる。

3. 就労移行支援事業

- ①第六中跡地の新しい施設に早期に順応する。通勤を含めて、自立を促進しながら、生産を維持する。
- ②就労に向けた基礎知識を身につける。研修や会議への参加、他の就労関係の団体との連携を強化する。

今年度は利用者が2名増え、48名になります。安全面には注意を払い運営します。土曜日開所や健康維持など、生活面の充実も工夫して、成果を上げます。

事業所も3か所になり、情報の共有や連携の取り方など効率的な運営に課題も多くありますが、1歩ずつ進んでいきます。また、今後も事業拡大を予定していますので、法人運営の中核となる人材の育成に注力します。



スマイルプラザ中央町

← 入口

製パン設備 →



学芸大学ショップ1周年

しいの実社学芸大学店は、2回目の春を迎えました。

1月から社員(利用者)を1名迎え、毎週木曜日にはにぎやかなお店になっています。仕事内容は、接客・洗い物・商品の並び替え・ラッピング・プライスカード作り・店頭にあるウェルカムボード(黒板)を書くなど、様々なことにチャレンジしています。お客様も温かく見守ってくださり、社員も伸び伸びと働くことができていますように思います。店頭にあるウェルカムボード(黒板)は毎週社員が出勤する度に変わるので、常連のお客様のお店にいらっしゃる楽しみのひとつにもなっているようです。一度ぜひ見にいってください。

また、昨年10月からブログも始めました。早いもので、もう5カ月になりました。「継続は力なり」常連のお客様から1周年のお祝いにお花と一緒にいただいた言葉です。この言葉を胸にこれからも学芸大学店スタッフ一同しいの実社の更なる地域密着を目指して、努力していきます。今後とも宜しくお願い致します。
 〈学芸大学店 高木美那〉

しいの実社学芸大学店ブログ

<http://ameblo.jp/shiinomi-shop2/>



健康プログラム

しいの実社では現在月に1回講師の先生に来ていただき、健康プログラムを実施しています。

椅子に座りながら音楽に合わせて体を動かす体操を中心に行っています。年齢層が幅広く、人数も多くなってきたため、グループをいくつかに分けて実施しています。高齢のグループには足腰を鍛えるような運動を取り込んだり、学芸大学の作業所ではねじ入れの作業が中心となるため、作業の合間に体をほぐせるようなストレッチを中心に行っています。

体操が終わった後は皆さんすがすがしい顔つきで仕事に戻っており、体を動かす心地よさは良い気分転換にもなっているようです。



馬場ハーベストS・A

馬場ハーベストS・Aさんは不動産の会社で、空き地の有効利用のコンサルティング業務及び市場調査が主な仕事内容です。目黒区中央町の閑静な住宅街に馬場徳芳社長をお訪ねしました。

先代社長の時代は「馬場製作所」として金網などパンチングメタルを製造する工場でしたが、現社長になり不動産業へと変わりました。「製造業の経営で大変なことは従業員に賃金をきちんと支払うことではないでしょうか。その点で製造業から今の不動産業への早めの方向転換は良かったと思っています。」と話されました。

もえぎの会とのご縁は平成16年に始まり、沼野会長の紹介で最初から後援会の立ち上げにご尽力いただきました。ゼロからのスタートで、今の後援会の基礎を作っていただきました。目黒の青年会議所時代には障害を持つ人のキャンプと一緒に参加した経験もあり今もOBとしてかかわっておられるとのことです。

「もえぎの会は特色としての良いところを多いにPRして周囲の人に一層理解され支援してもらえるようになってください。」とのアドバイスも頂きました。

当日は以前から社長とご縁があった野村理事長も同席して、今後の法人の事業展開などを説明し、社長はその話に熱心に耳を傾けてくださいました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

**イシ・コーポレーション**

目黒区上目黒1-13-9-101

3477-0781

<http://www.isi-corporation.jp>

桜並木ですっかり有名になった目黒川沿いにある「イシ・コーポレーション」の石井泰夫社長は仕事大好き、中目黒大好きという大変気さくでおしゃれな方です。

それもそのはず、平成8年に大手アパレル会社から独立され、スイス綿の婦人シャツブラウス「サンクトガレン」を企画販売されています。最近では紳士物の準オーダーシャツも手がけていらっしゃいます。

「サンクトガレン」はスイスの北東部の都市でスイス綿の産地「ザンクトガレン」に由来するものだそうです。スイスでは昔から、アルプスの水や得意な手仕事も手伝い、紡績も盛んです。原料は輸入ですが、糸を織ったり、染色、仕上げがフランス革命頃から世界でも最高級の綿として知られています。エジプト綿やアメリカの綿は世界中どこでもありますが、スイス綿はスイスでしか作られない生地です。日本で最も多い扱いがあるのが、イシ・コーポレーションです。

デザインや企画は上目黒の会社でされ、スイスで素材が生まれ、縫製は日本。その量は年間2万枚にも上るとか。当然石井社長自ら、スイスをこの10年に60回以上は訪れていらっしゃるとのこと。お借りしたスイスの写真集を見ていると、「観光地は写真で見て、きれいだなあと思い、行ってみると失望することがよくあるでしょ？ところが、実際に行くと、写真より素晴らしいのがスイスです。」と、観光立国たる国を象徴しているお話です。また、障害を持つ人や高齢の人への対応もさりげなく、礼儀正しく大切に接しているように思えるということ。「特別」や「専用」というものはなく、自然に手助けをしている。「『設備』や『施設』が助けるのではなく、人が助けているんですねえ」ともお話し下さいました。

地域の小さな共同体の中から、幼いころから、それこそ「人」を見て学んでいるのでしょう。

石井社長から伺うスイス事情や仕事のお話は興味深く、あっという間の時間でしたが、「着てみたら、洗ってみたらわかる」「品質が売り」のお言葉に、しいの実社の製品もそうありたいと願う日でした。

中華料理 チャイナムーン

目黒区鷹番3-6-16

3716-2558

* 月曜定休



さまざまな中華食材の写真パネルが「いらっしゃいませ」と出迎えてくれる学芸大学駅 近くの中国料理店「チャイナムーン」をお訪ねしました。そのパネルの中にオーナーシェフの関根祥司さんの表情があります。西麻布の長江や六本木の中国飯店を経て、今年7月「チャイナムーン」は4周年を迎えます。本物の中国料理を味わってもらおうと、養護学校の給食室や調理室で150名分の仕込みをされたというボランティア経験もお持ちだとか。平日のランチタイムが一段落したところで、お話を伺いました。人の体に負担がかからない、優しい料理を提供するのが関根さんの信条です。「野菜は根を切って水を吸わせます。そうすると、炒めた時、野菜は水分をはこうと、自分を守ろうとして一瞬で火が通るのです。生きている野菜を炒めるのです」。また「今は都合のよさを追求して、本来の野菜とは違う方に向かっている気がします。トマトも種類が違えば、用いる料理も違うので分かっておいた方がいいですし、なすも季節により、浸す時間が違ってきます。それくらいは気をつけているつもりです」と、素材と会話しながらの日々ですとお話し下さいました。また、中国料理の中には〇〇料理など、いろいろありますが、何料理でしょうか?の問いには、「日本人が作る中国料理をベースとした素材の味を超えない料理」と、おっしゃいます。それは、日本の風土の中で、作るのも、食べるのも日本人だということと、「五味調和して百の味を出す」(五つの調味料があると百通りの味ができる)という中国のことわざが示す、料理は調和しなければならないという教えが根幹にあります。

厨房はお一人なので、材料を切っておけばと言われることもあるそうです。「もし自分が目の前で切っておいた野菜で料理されたらいやだなあと思う訳ですよ。その場で切って出されると、それもおいしさの一つですね。だから時間がかかります。お待たせします。」と、潔くおっしゃいます。その丁寧な仕事と素材への思い、そして奥様のさりげないサーブが「チャイナムーン」の隠し味なのですね。ありがとうございました。

新規後援会員をご紹介ください

年会費 1口1,000円 個人会員 1口以上、 法人会員 10口以上

会費はお手数ですが、直接お持ちいただくか、下記口座へお振込みください。

郵便振込口座 00130-5-667751

口座名義 もえぎの会後援会

問い合わせ先 もえぎの会後援会事務局(電話:03-5724-7153)

* 恐れ入りますが振り込み手数料はご負担願います。

沙羅の家

外出企画

世話人 長谷茂雄

外出イベント@目黒川散歩とバイクング

昨年11月3日の文化の日に、いつも夕食の調理ボランティアに来ていただいている方々と一緒に、目黒川沿いを目黒から大崎まで散歩してきました。天気はとても良かったのですが、この時期にしては気温が低く、また風も強かったのでさらに寒さが増し自然と足早になってしまっていました。

大崎では駅前のゲートシティ内にある「ロオジ」というレストランでランチビュッフェをいただいてきました。buffeスタイルのお店は沙羅の家の皆さんは慣れた様子で、思い思いの料理を持って来ては美味しく食べていましたが、このお店の面白いところはソフトクリームを自分で作る(出す)事が出来ることでした。皆さんも果敢にチャレンジして こちらも美味しく頂きました！



外出イベント@ボウリングとバイクング

今年最初の外出イベントは2月11日の建国記念の日に品川プリンスポウルでボウリングを楽しんできました。沙羅の家のメンバーでのボウリングは初めてだったのですが、みなさんそれぞれ独特な投げ方(?)をしていましたが、ストライクやスペアも出して良い笑顔で楽しんでいた様子でした。運動の後はもちろん今回も美味しい昼食付きで(こちらがメインイベントかな?)、お腹もいっぱいになり大満足な一日になりました。



フレッシュ！！

先日のしいの実通信でもお伝えしましたが、平成21年9月から新しいパートスタッフ深町優と浅山良の2名が加わりました。2人とも若くてフレッシュです！沙羅の家の利用者さんたちとも仲良く過ごしています。今後ともよろしくお願ひします。

編集後記

あつという間に季節が巡り別れもあれば新しい出会いも訪れる春になりました。

これまでの関係を大切にしながら、新たな出会いを楽しみに一歩ずつ進んでいければと思います。

今後ともどうぞよろしくお願ひします。(岡田なおこ)

発行：社会福祉法人もえぎの会

住所：目黒区目黒本町2-7-3

(法人本部)電話：03-5724-7153

e-mail : shiinomisha@abeam.ocn.ne.jp

http://www.moeginokai.jp/

